

第 15 回 農業後継者りんご整枝剪定講習会兼競技会（筆記試験）

氏名		点数	
----	--	----	--

問 1、「りんごの樹の動き編」文章の（ ）内に適切な用語を下から選び、答えよ。【20 点（各 2 点）】

- (1) 発芽期=頂芽の先が破れ青みが現れたものを、1 樹で（ 3 ）芽以上見られたとき。
- (2) 芽出し当時=1 樹で（ 7 ）～（ 8 ）割の芽が割れたとき。
- (3) 展葉期=1 樹の中で完全に開いた葉が（ 1 ）枚でもみられたとき。

1、2、3、6、7、8、9、1、2、3

- (4) 開花日=（ 1 ）～（ 2 ）花開花したとき。
- (5) 満開日=（ 70 ）～（ 80 ）%開花したとき。
- (6) 落花日=（ 70 ）～（ 80 ）%落花したとき。

1、2、3、4、5、60、70、80、90、70、80、20

問 2、「りんご病害虫編」文章の（ ）内に適切な用語を下から選び、答えよ。【16 点（各 2 点）】



（ 黒星病 ）



（ うどんこ病 ）



（ 腐らん病 ）



（ 輪紋病 ）

- 腐らん病
- モニリア病
- 黒星病
- うどんこ病
- 黒点病
- 斑点落葉病
- 炭疽病
- 褐斑病
- 輪紋病
- すす斑・すす点病
- ナミハダニ
- リンゴハダニ
- リンゴワタムシ
- オオタバコガ
- サンホーゼカイガラムシ
- ミダレカクモンハマキ
- モモシクイガ



(リンゴハダニ)



(リンゴワタムシ)



(オオタバコガ)



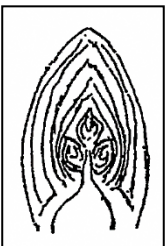
(サンホーゼカイガラムシ)

問3、以下の内容に当てはまる人物を下の から選びなさい。【25点 (各5点)】

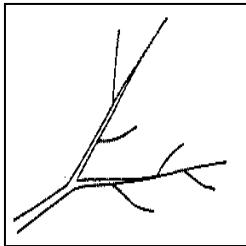
- ①青森県りんご協会を設立し、戦後復興の祖と呼ばれた人物 (渋川傳次郎)
- ②ふじの普及に尽力し、穂木の無償提供を行った。「ふじ育ての親」と言われる人物 (齋藤昌美)
- ③ボルドー液や袋かけの普及、りんごの神様と呼ばれた人物 (外崎嘉七)
- ④「青森りんごの開祖・始祖」と言われ本県がりんご産地になる基礎を作った人物 (菊池楯衛)
- ⑤りんご試験場で病害研究に従事し、モニリア病の解明や防除法の確立に貢献した人物 (木村甚彌)

ジョン・イング 、 澁川傳次郎 、 對馬竹五郎 、 外崎嘉七 、 木村甚彌
 菊池楯衛 、 スティーブ・ジョブズ 、 黒田清隆 、 齋藤昌美 、 藤田光男

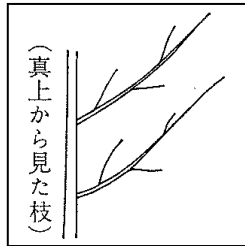
問4、下図の名称を答えよ。【18点 (各2点)】



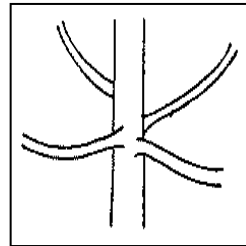
(花芽)



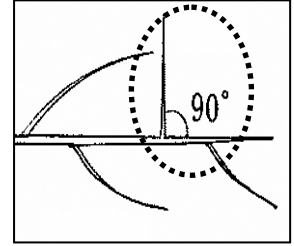
(共枝)



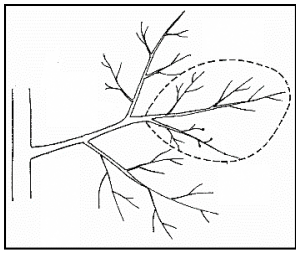
(平行枝)



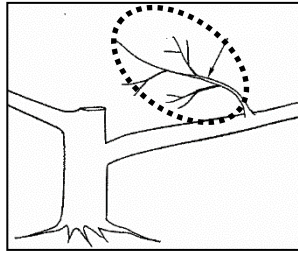
(車枝)



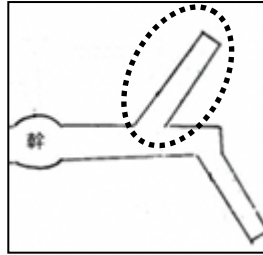
(角枝)



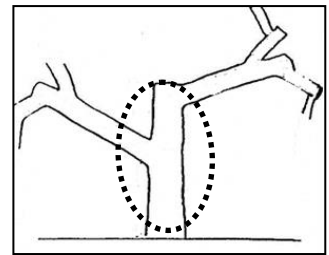
(結果母枝)



(逆向枝)



(垂主枝)



(主幹)

角枝	共枝	葉芽	車枝	逆向枝	平行枝	花芽	結果母枝
立枝	新梢	主幹	結果母枝群	結果枝	垂主枝	樹高	

問 5、品種による枝の特徴を答えなさい。【10点 (各2点)】

- ①枝は鋭角に出やすく、立ち上がりやすい。衰弱した枝には小玉が多い。りんご娘のメンバーの名前でもある。
(王林)
- ②成り枝は、裸枝になりやすく、かつ立ち上がりやすいが、結実すると下がりやすい性質をもっている。
(つがる)
- ③花芽が着きやすく豊産性であるが、成枝には短果枝がスパータイプ状につくのが特徴。近年は改植や新植に人気の長野県育成品種である。
(シナノゴールド)
- ④成り枝が結実すると衰弱や隔年結果が激しいので、鋏入れや切り上げを多くする。青森県栽培面積 No.1 品種である。
(ふじ)
- ⑤基本的に樹の生育特性は弱めのふじに似ており、枝に柔軟性がある。群馬県育成品種である。
(ぐんま名月)

ふじ 王林 つがる ジョナゴールド、シナノゴールド、金星、シナノスイート、ぐんま名月

問 5、以下の問いについて計算し答えよ。【6点 (各3点)】

- (1) わい性台樹を 10 畝当たり列間 5 畝、樹間 4 畝で改植を行った。10 畝当たりの植栽本数は何本になったか。
(約 50 本)
- (2) 殺菌剤 A (1 本当たり容量 250ml) を 2,000 倍で調合する場合、1,000 畝当たり何本必要か。
(2 本)

問 6、整枝剪定の目的を 3 つ答えよ。【5点 (完全解答)】

良品果の安定生産
樹を健全に保持
作業しやすい樹を作る